

No. 62

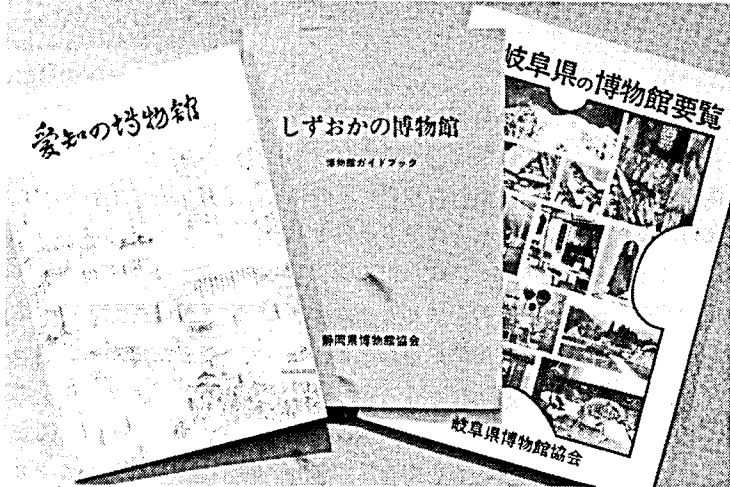
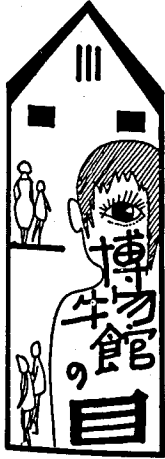
1983.

9. 1

岐阜の博物館

編集兼発行

▽501-32 関市小屋名
(百年公園内)
岐阜県博物館内
岐阜県博物館協会
TEL(05752) 8-3111(代)
振替 名古屋 6 87909



「岐阜県の博物館要覧」再改訂版発行にご協力を!

「岐阜県の博物館要覧」が最初に出版されたのは昭和43年でした。全国的にもトップをきっての出版で、その後昭和50年には、写真右端のような改訂版が発行されました。

最近全国各地に大型公立博物館の建設が相次ぎ、また市町村立の歴史民俗資料館等の誕生も目立っています。社会教育から生涯教育への理念の進展にともない、社会が博物館へ期待することも増大し、全国版及び県単位の博物館要覧・ガイドブック等の出版物も多くなっています。近くでは、「ガイドブック愛知の博物館」「しずおかの博物館」など、アート紙を使用したハンデーなものが出版されています。

当協会発行の要覧は、すでに7年前のもので、岐阜県博物館がまだ開館される前の刊行物です。その後岐阜県美術館の誕生はもとより、市町村立の歴史民俗資料館等も多数誕生しています。当協会では、要覧作成委員会を設け、本年度中に原稿を収集、昭和59年度中に発刊することになりました。大要は、

- ◎B5版 約200頁、表紙カラー、本文2色刷り、見開き2頁で協会会員館園を紹介する。
 - ◎出版社との提携により市販できるものとする。
- 以上を基本線とし、委員会で見本を作成し、

県内各会員館園等へ素原稿の執筆依頼をする予定、そこで会員各館園では、

- (1)白黒写真の用意(建物全景あるいは正面玄関、展示室のようす、展示収蔵資料の目玉品、特色ある展示コーナー、教育普及事業活動のようす等3~5枚程度)
 - (2)館園紹介記事に役立つ諸資料(パンフレット、館報、だより、その他の印刷物)の整備
- 以上の2点を、今から準備して下さるようお願いしておきます。

後日、記入要項、原稿用紙等を配布しますが、内容としては、◎交通案内 ◎沿革 ◎展示資料の概要 ◎収集資料 ◎施設の概要 ◎教育普及事業活動 ◎開館・入館料等の案内といった項目ごとに、各館園で素原稿を作成していただき、委員会で編集します。要覧そのものの品位を落とさない範囲で、読者側の利用の便となる宿泊案内等の広告を載せる等のアイデアが出されています。要覧作成上のご意見、提案等がありましたら、気軽にどしどし事務局までお申し出下さい。他県版に負けぬ、格調高き要覧発行のために、会員各館園・個人の方々のご協力を切に願っています。(編集委員会一同)

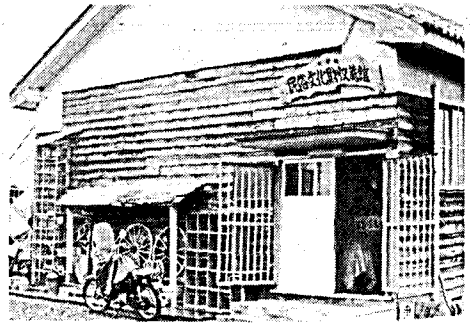
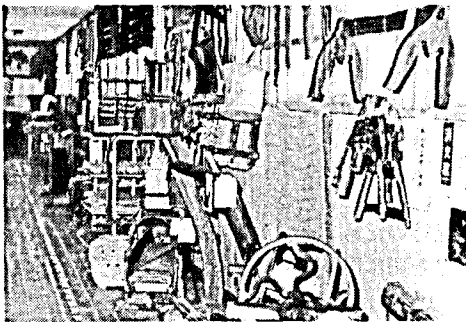
糸貫町民俗文化財収蔵館

▽ 501-04 本巢郡糸貫町 糸貫町役場内
糸貫町教育委員会
TEL <0583> 23-1155 (代)

町民憲章の第一にあげられている「歴史を尊び、自然をいかし、豊かな町をつくりましょう」の実践の一方法としてつくられたのが、この民俗文化財収蔵館です。もともと農業を基盤として発展してきた糸貫町ですが、岐阜市に隣接した地理的条件に加え、社会の発展にともなう家屋生活様式の急変により、生活農耕用具・機具が失われていきます。

同町長屋、常德寺住職の龍川信兼氏は、同町の文化財審議会会長でもあり、こうした風潮に心を痛め、長年収集されてきた資料を町に寄贈するとともに、町立資料館の設立を強く働きかけられました。その長年のご努力の土台のもとに、新築移転で不用になった小学校の教室(三教室)を補修、内部改装したもので、これを機に、町民にも広く呼びかけて、民俗資料の収集がなされました。

現在では、その名のごとくまだ収蔵館で、町の人々のくらしを支えてきた数々の民俗資料が、衣食住、生産・生業、交通・運輸・通信、交易、信仰などの項目に応じて整理され陳列してあるだけといった感が強い。あくまでも今後の歴史民俗資料館づくりへの第一歩であり、その実現(廊下にも農機具がいっぱい収蔵陳列されている)



(正面入口)

の日は待たれてなりません。

民俗文化財に接し、資料と語り、昔の生活を思い浮かべ、先祖の生活の知恵をさぐるためには、いつまでも収蔵館であってはなりません。訪れる多くの人々に、そのことを深めていただく場としての教育的配慮にもとづく陳列〜つまり展示の場をもった博物館への発展を願わずにはおれません。でなければ、せっかくの貴重な収集品の数々も、今の世に生きる人々と結びつかないし、ことに若い世代や子どもたちなど、後世へ残してやる宝物ともなり得ないでしょう。大人の懐古趣味でなく、町の未来を背負って立つ若い人々に、新しいものを作り出すための教材とし、生きて働きかける博物館資料とすることが急務であるといえます。

常時開館されてはいませんから、見学に際しては同町教育委員会へ電話で問合わせてからお出かけ下さい。親子で出かけられ、ここに収蔵されている資料のあれこれについて、親の生活経験や見聞の思い出をこそ、「もの」を目の前にして、子どもたちに語り伝えるべきだと思います。(S.O)

(住居の一室風に展示されたコーナー)



瑞浪鉱物展示館

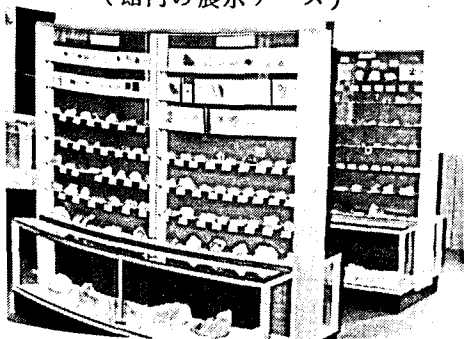
▽ 509-61 瑞浪市寺河戸町 1205

TEL 0572-67-2131

耐火レンガを製造されている中央陶器工業の若き専務伊藤洋輔氏は、秋田大学の鉱山学部の卒業、子どものころからの鉱物収集家で、伊藤鉱物コレクションの内容は、今では日本国内はもとより海外にまで及んでいます。その内容は、鉱物約1,900種、宝石類300種、標本は未整理のものも含めると25,000点にも及んでいます。自らペルー、ポリビア、チリ、ブラジル等まで足をのばして採集したり買い求めた鉱物の他、内外の研究者、コレクター、海外の博物館等との交換品、あるいは欧米の標本店を通して手に入れた標本などが含まれ、鉱物の知識が家業に役立つとはいえ、鉱物の収集にかけられた努力・情熱には、ただ頭が下がるばかりです。地球の歴史の産物としての鉱物に向ける科学の目は、男の一生に夢とロマンをふくらませてくれるのでしょうか。ひとつのことにのめりこめる男の幸せともいえるかもしれません。

瑞浪鉱物展示館では、そうした膨大なコレクションの中から、約1,500点を選び出して一般公開されています。小中学校や高等学校の理科の授業でも、地学の内容があり多くの鉱物も登場します。しかし、往往にして、実物に触れることもなく、写真を見てすませてしまう授業内容が多いようです。自然物に接しないままの紙

(館内の展示ケース)



(建物のようす)

上自然学習に終わりがちです。そんな場合に、分類整理された当館の鉱物標本の数々は、ぜひ一度目にしていただきたい教材そのものといえます。

展示室に入ると、用途による分類にしたがって、○金属鉱物 ○非金属鉱物 ○宝石鉱物がズラリと紹介され、形能による分類にしたがって、○双晶 ○仮晶 ○結晶系、そして、隕石、貴金属鉱物、ウラン鉱物、希元素鉱物が続々と登場してきます。苗木地方の鉱物、岐阜県の鉱物、ブラジルの鉱物といったコーナーもあります。展示は、オーソドックスな分類展示ですから、興味のない人にとっては、少々ウンザリするくらい豊富な資料が並んでいます。地学専攻の大学生や研究者にとっては、興味つきないところでしょう。鉱物・宝石等についての相談事にも応じ、標本の交換・標本の輸入代行等も行っておられますので、あらかじめ電話連絡の上訪問されるといいでしょう。開館9時～17時、休館日12月29日～1月5日、入館料一般150円、小中学生100円、20人以上団体2割引。

(豊富な鉱物資料がズラリ……)



岐阜県博物館友の会 入会のおさそい

岐阜県博物館友の会事務局

岐阜県博物館は、県民の多くの皆さんによって育てられてきました。この博物館は、郷土岐阜県の自然・歴史を目で見て、未来の郷土づくりに必要な学習をするための社会教育施設です。

このたび、岐阜県博物館を愛する有志を母体に、岐阜県博物館友の会を結成いたします。本会は、岐阜県博物館事業の普及を図るとともに、会員相互の教養を高め、親睦を図ることを目的としています。

欧米の博物館先進国と比べると、まだまだ日本では、博物館をうまく日常生活に密着させて活用すること、いわば利用する側の博物館への認識に、後進性がみられるのが現況のようです。それだけに、ひとりでも多くの方々が、この会の趣旨にご賛同くださり、友の会に入会していただきますようお願いいたします。心豊かでうるおいのある日常生活を楽しむためには、博物館はうってつけの機関といえます。

会員には次の特典があります。

- ◎常設展・特別展が無料で観覧できます。
- ◎博物館だよりが配布されます。
- ◎講演会・教室などの催し物にお招きします。

会費は1人年額……………

- ◎一般 2,000円、小・中・高校生 1,000円
 - ◎同一家族で2人以上の方が会員となられる場合には、
 - (1)父・母など大人2人 → 3,000円
 - (2)父・母、小学生の大人2人子ども1人 → 3,500円
 - (3)父と子どもの大人1人子ども1人 → 2,500円
- 以上の一例に示しましたようにいろいろな家

族構成の申し込み内容に応じた減額制度があります。詳細は事務局までお問い合わせください。

入会のお申し込み……………

◎入会申込書に必要事項を記入し、会費を添えて事務局までお申し込みください。

- (1)直接博物館内事務局へ納入
- (2)現金書留により申込書同封で郵送
- (3)申込書を郵送し、会費は郵便振替で送金

上記のどの方法でもかまいません。申込書の用紙は、各市町村の主な文化会館・図書館等にも配布してありますし、博物館の受付にもあります。

〒501-32 関市小屋名(百年公園内)
岐阜県博物館友の会事務局
TEL <05752> 8-3111 (代)
郵便振替 口座番号 名古屋 5-34950
口座名称 岐阜県博物館友の会

お知らせ

春の人事異動により、協会役員の一部に下記のような異動があり、総会で承認されました。

常任理事 瑞浪市化石博物館小倉靖之氏→伊野重幸氏へ

同上 飛騨民俗村西永由典氏→大野良彦氏へ

★退会 油石洞、郡上染織資料館、宝玉歴史館(以上閉館による)小池和輔氏(死去)

★新規加入 荻原町禅昌寺歴史民俗資料館、瑞浪鉱物展示館、河合俊次、

昭和57年度 岐阜県博物館協会収支決算書

収入総額 1,129,416 円
 支出総額 980,084
 次期繰越額 149,332

(収入の部)

(単位 円)

科 目	予 算 額	収 入 済 額	増 減 (△)	摘 要
前年度より繰越	193,890	193,890	0	
会 費	430,000	381,000	△ 49,000	公立 29館 私立 36ヶ 個人 31人 高山市賛助会費 入会金 3件
補助金	540,000	540,000	0	県 440,000円 岐阜市 100,000円
要覧頒布料	3,500	10,700	7,200	26部
雑収入	4,000	3,826	△ 174	ポスター 23枚 預金利息
計	1,171,390	1,129,416	△ 41,974	

(支出の部)

科 目	予 算 額	更正後予算額	支 出 額	予 算 残 額	摘 要
事務費	200,000	192,000	161,806	30,194	
通信連絡費	150,000	150,000	147,210	2,790	
会議費	10,000	10,000	0	10,000	
印刷費	20,000	15,000	13,000	2,000	
需用費	20,000	17,000	1,596	15,404	
機関紙費	400,000	350,000	319,173	30,827	「岐阜の博物館」
印刷費	200,000	200,000	179,400	20,600	4回発行
送料	90,000	40,000	35,000	5,000	(No.58~61)
取材料費	90,000	90,000	99,773	△ 9,773	日博協全国大会他
会議費	20,000	20,000	5,000	15,000	取材調査旅費
セミナー費	160,000	160,000	43,350	116,650	セミナー5回開催
講師謝金	30,000	30,000	15,000	15,000	
会場費	30,000	30,000	5,000	25,000	
印刷費	10,000	10,000	0	10,000	
通信連絡費	60,000	60,000	0	60,000	
会議費	30,000	30,000	23,350	6,650	
郷土芸能取材調査費	60,000	60,000	60,000	0	文化財保護協会に委託
三県交流研修費	100,000	236,000	235,200	800	当番県としての設営経費
東海博総会費	50,000	50,000	50,650	△ 650	総会出席旅費(浜松市)
会費	10,000	10,000	10,000	0	及び会費
旅費	40,000	40,000	40,650	△ 650	
日博協全国大会費	45,000	0	0	0	
総会費	56,000	38,000	37,200	800	通常総会開催経費
通信費	10,000	0	0	0	
会場費	6,000	6,000	5,500	500	
印刷費	10,000	0	0	0	
食糧費	30,000	32,000	31,700	300	
学芸技術員講習会費	10,000	0	0	0	
常任理事会費	65,000	65,000	64,055	945	常任理事会開催経費
会議費	18,000	18,000	27,300	△ 9,300	
旅費	47,000	47,000	36,755	10,245	
役員会費	0	0	0	0	
表彰費	10,000	5,000	5,000	0	5名表彰
振替手数料	5,000	5,000	3,650	1,350	73件
慶弔費	10,000	10,000	0	10,000	
予備費	390	390	0	390	
計	1,171,390	1,171,390	980,084	191,306	

昭和58年度 岐阜県博物館協会収支予算

(収入の部)

(単位 円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減 (△)	摘 要
前年度より繰越	149,332	193,890	44,558	
会 費	455,000	430,000	25,000	県立2館 市町村立33館 私立法人48館 個人会員32人 高山市賛助会費 入会金
補助金	540,000	540,000	0	県 440,000円 岐阜市 100,000円
要覧頒布料	8,000	3,500	4,500	@400円 20冊
雑収入	5,000	4,000	1,000	利息、その他
計	1,157,332	1,171,390	△14,058	

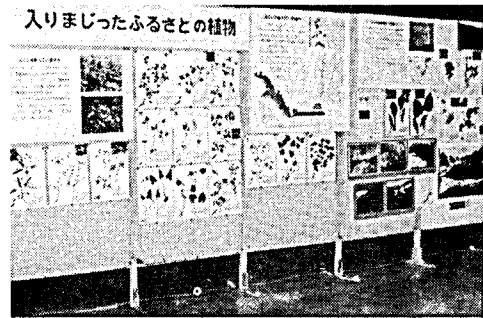
(支出の部)

科 目	予 算 額	前年度当初予算額	増 減 (△)	摘 要
事務局費	160,000	200,000	△40,000	
通信連絡費	130,000	150,000	△20,000	
会議費	5,000	10,000	△5,000	
印刷費	15,000	20,000	△5,000	
需用費	10,000	20,000	△10,000	
機関紙費	360,000	400,000	△40,000	
印刷費	200,000	200,000	0	
送材料費	50,000	90,000	△40,000	
取材料費	100,000	90,000	10,000	
会議費	10,000	20,000	△10,000	
セミナー費	160,000	160,000	0	
開催費	120,000	0	120,000	
講師謝金	0	30,000	△30,000	
会場費	0	30,000	△30,000	
印刷費	10,000	10,000	0	
通信連絡費	20,000	60,000	△40,000	
会議費	10,000	30,000	△20,000	
要覧作製費	230,000	0	230,000	
編集事務費	30,000	0	30,000	
印刷製本準備立金	200,000	0	200,000	
郷土芸能取材調査費	0	60,000	△60,000	
三県交流研修費	17,000	100,000	△83,000	
東海博總會費	38,000	50,000	△12,000	
会費	10,000	10,000	0	
旅費	28,000	40,000	△12,000	
日博協全国大会費	52,000	45,000	7,000	
總會費	50,000	56,000	△6,000	
通信費	10,000	10,000	0	
会場費	6,000	6,000	0	
印刷費	4,000	10,000	△6,000	
食糧費	30,000	30,000	0	
学芸技術員講習会費	5,000	10,000	△5,000	
常任理事会費	60,000	65,000	△5,000	
会議費	15,000	18,000	△3,000	
旅費	45,000	47,000	△2,000	
表彰費	5,000	10,000	△5,000	
振替手数料	5,000	5,000	0	
慶弔費	10,000	10,000	0	
予備費	5,332	390	4,942	
計	1,157,332	1,171,390	△14,058	

移動展「ふるさとの植物」 ご活用ください!!



(大垣市文化会館での会場入口)



(土岐市文化会館での展示のようす)

岐阜県博物館では、これまでに多治見市、高山市、大垣市、土岐市、垂井町で移動展を開催しました。地域に働きかける博物館教育普及活動の一環として計画されたもので、一面からは、地域の文化会館等の催し物企画からの要望にも応えたものです。これまで「岐阜県のは乳動物」「身近になった帰化植物」「触察コーナー」等の内容が行なわれましたが、最大の問題点は(ことには乳動物など)資料の輸送に時間、労力、そして費用がかかること、資料そのものの破損の心配があることです。

ここに紹介する「ふるさとの植物 ～分布のなぞをさぐる～」は、昭和57年の夏に、岐阜県博物館の特別展として開催されたものです。日本列島の縮図のように、いろいろな植物社会のみられるふるさと岐阜県を、植物標本、カラー写真、パネル等で紹介したもので、

◎分布の事実に目を向けよう、・身のまわりの雑草、・タンポポのなかま、・くわしく観察してみると、・ツツジのなかま、◎入りまじったふるさとの植物、・スマレを知っていますか、・北方寒地性植物、・温帯のブナ林、・日本海(多雪地)側の植物、・東濃地方の珍しい植物、・暖帯系の植物、・注目すべき植物……といった項目が展示内容です。特別展の展示内容をそっくりそのまま保存しているもので、移動展会場の展示スペースに合わせて、ダイジェストして展示しています。

輸送資料内容は、

- パネル類 60×90cmもの約15枚
- 写真類 全紙、半せつ等約40枚
- 標本類 約250枚(段ボール箱1箱に収納)

以上が最少必要資料ですので、ライトバン1台で十分運ぶことができ、比較的簡便であることが利点です。受入れ会場側には、写真のような壁面(標本及び写真パネル展示)を、延にして30m以上準備してくださることを望みます。

各市町村の社会教育諸施設等での催し物として、あるいは学校等での文化祭その他の催し物に、県下各地で幅広く活用してくださることを望みます。開催の方途としては、

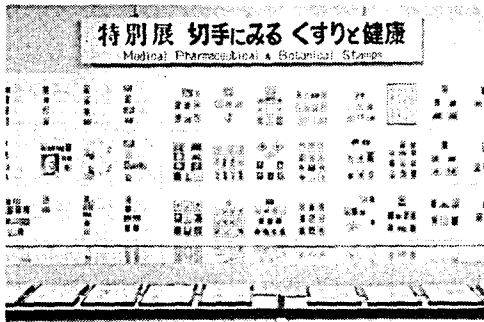
- (1)資料を借用し、全てを開催側で実施する。
- (2)博物館と共催し、両者の合議により費用等を折半して実施する。
- (3)博物館主催を後援する形で実施する。

等が考えられますが、実施に先立ち、早いうちに(1年前に)お申し込みされ、博物館側と事前協議を十分もたれることを望みます。

今回は、資料運搬の簡便な「ふるさとの植物」に焦点をあて移動展活用の案内をしましたが、開催方法、開催内容等についても、気軽に博物館へ相談されるといいでしょう。この件に関する窓口は、〒501-32 関市小屋名 岐阜県博物館学芸部 教育普及係 [TEL 05752-8-3111(代)]です。

特別展「切手にみるくすり与健康」
へどうぞ！

内藤記念くすり博物館（羽島郡川島町エーザイ川島工園内 TEL 058689-3111 内線 540）では、世界各国発行の切手を分類し解説をつけ、表題のような特別展を開催中です。医薬関係の人物切手 344枚、医療切手 917枚、赤十字切手 365枚、薬用植物などの植物切手 1489枚の総計 3,115枚が展示され、昭和58年8月9日～10月30日までのロングラン、入場は無料ですので、ぜひとも多数お出かけください。午前9時～午後4時開館、毎週月曜休館です。



久々野町歴史民俗資料館オープン

過去7年間にわたり発掘調査が行なわれた堂之上遺跡は、昭和55年に国指定の史跡となりました。縄文時代前～中期の典型的な集落跡が明らかになり、これが遺跡公園として整備され、その片すみに歴史民俗資料館が完成しました。堂之上遺跡の出土品はもとより、町内に残され

ている考古資料・歴史資料・民族資料を収集、保管、展示することを目的としており、市町立の歴史民族資料館のなかがまがふえました。

岐博協セミナー高山で開催

当協会年4回のセミナーは、5月に岐阜県博物館、7月に大和村と、順調に開催されてきました。第3回は、10月13日(木) 飛騨民俗村「飛騨の里」で行なわれる予定です。詳細は後ほど案内されますが、多数ご出席くださいますよう今から予定しておいてください。第4回は、岐阜県美術館を会場に 11月上～中旬に行なわれる予定です。

下呂合掌村・竹原文楽館増築完成

一人で百余体の人形を操る下呂町の無形文化財・竹原文楽は、下呂温泉合掌村の竹原文楽館で公開されていますが、満15年を記念し約64㎡から96㎡へと5割広くなり、200人収容から300人収容へと新装されました。上演は毎日午前10時、午後3時30分の二回、休館は毎週水曜日と、月末の29日～31日まで、上演時間は約50分です。

原稿募集

特別展・企画展等の催し物案内、新収蔵資料の紹介、行事の記録、その他博物館活動の実践の跡、あるいは博物館界に望むこと、何でもどんどんどご寄稿ください。年4回の発行、遅れていますが、63号10月、64号12月 65号2月発行の予定です。

編集後記

◎本年度第1号の発行が、大変遅くなりましたことを、まずおわび致します。要覧の再改訂版では、協会会員館園を収録します。未加入、会費未納入の館園は、これを機に加入、年会費を納入くださるようお願いいたします。

◎博物館学の実習生が目立つ今頃です。博物館に期待する社会の目も肥えてきました。

(S.O.)